

# RPAを活用した DX 業務効率化・コスト削減

コース番号：055-049

2024年

開催日時：**12月17日(火)** 募集締切：**12月10日(火)**  
**9:30~16:30** (6時間)

開催場所：ポリテクセンター山梨  
 定員：**16名程度** (先着順)  
 推奨者：中堅層

受講料  
**3,300円** (税込)

## コースの狙い

業務の効率化とコスト削減を目指して、RPAの技術概要や活用事例、活用検討にあたってのポイントを理解し、RPAを活用した自社業務の課題解決策立案に繋げることができる能力を習得します。

## 主な訓練内容

### ◎ 業務を自動化するRPA (Robotic Process Automation)

#### (1) 中小企業の経営環境とDX中小企業の経営環境とDX概要

中小企業における環境変化とDXの必要性とは何なのか？国の施策としてのDX推進の背景を解説、RPAを含めたDX推進の必要性を共有する。

#### (2) RPAの概要と特徴 (機能・強みと弱み)

RPAとは何か？RPAはどのようなものか？現状でRPAが求められているのか？そのメリット・デメリット (向いている業務と不向きな業務など) を解説。

【演習】DX推進のメリット

#### (3) RPAの活用事例

RPAが効果を発揮する業務とはどういうものか、どんなリスクがあり、どんな対策をすることで成功するのか等、(2)の内容についてRPAの活用事例紹介を通じて理解を深める。

### ◎ RPAを活用した業務効率化とコスト削減案の立案

#### (1) RPA活用の実行モデル

RPA導入を成功に導くモデルケースについて、構想→計画→導入→改善の実行モデルを解説。

#### (2) RPA活用による業務効率化計画の検討

自社もしくは演習ケースについて、実行モデルに則して、RPA活用の構想→計画→導入→改善を具体的に検討する。

【演習】RPA活用による業務効率化計画の検討

#### (3) RPA導入に付加価値創造

RPA導入を工数削減だけの方法としてとらえるのではなく、RPA導入による省人化で得た人的資源を活用してどのように付加価値創造を実現するか？自社に落とし込んで具体化する。

【演習】攻めのRPA活用効果検討

### ○ 訓練内容のココがポイント！

- ・具体的な事例を数多くお伝えし、導入イメージを持っていただきます。
- ・講義を聞くだけでなく、演習を通じて自社・自職場への導入について考えていただきます。

## 実施機関 & 講師

学校法人

産業能率大学

総合研究所兼任講師

吉川 剛太氏



## 講師Profile

自社開発パッケージソフトの全国販売店拡販業務・セミナー講師を務めた経験やソフトウェア品質技術者試験に合格しており、中小企業診断士として主に中小企業を対象としたDX推進、IT活用による生産性向上に向けた支援 (セミナー講師、コンサルティング) がある。

お申し込みは

※ 当HP内「令和6年度オープンコース第3弾受講者募集のご案内」の下部に、Excelで直接必要事項が入力できる「オープンコース第3弾受講申込書」があります。